

令和3年度学校評価における年度末の報告

進学指導部
竹下 進一

点検・評価項目	自己評価	総括・意見等	特記事項
	優れている＝3 適切＝2 要改善＝1		
<p>1. 進学コース・選抜クラスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学コースの新設 ・スタディサポート、模擬試験の実施 ・スタディサプリの使用率向上 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・進学コースの生徒達は日々の学習に真剣に向き合い、部活動にも前向きに取り組んでいる。 ・スタディサポートは1クラス実施し、進研模試の受験者は各回数名にとどまった。 ・休校や分散登校による学習の遅れが心配されたが、それを補う重要なツールとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの半数以上が部活動に加入している。 ・学校推薦型選抜や総合型選抜で受験をする生徒が多く、一般選抜に対する意識が低い。 ・休校中は課題配信により、生徒の学習機会を確保できた。
<p>2. 看護医療系について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募推薦、総合型選抜(AO入試)における合格者の増加 ・志望校の分散化 ・志望理由書の作成や面接対策の実施 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度合格者(看護) 大学9名、専門学校12名 ・例年、一部の学校に受験希望者が集中するが、今年は各大学・専門学校に受験者が分散できた。 ・進学指導部で担当者を割り振り、個別に対応することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年1月26日現在 ・看護以外では歯科衛生士を目指す生徒が増加した。 ・7、8月に看護ガイダンスを実施し、専門の講師による模擬面接や志望理由書の書き方を指導してもらう。
<p>3. 放課後特別講座について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科部門と検定部門の2本立ての実施 ・出欠席の管理を徹底 ・講座の改編(講座数の増加) 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ160名を超える生徒が受講している。多くの生徒が進学を希望しており、それぞれの目標に向けて努力している。 ・講座担当者が毎回出席確認を行い、欠席者へは担任を通じて出席を呼び掛けている。 ・19講座(26クラス)で実施。3年生小論文講座は5クラス編成で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験を控えた3年生は欠席が少ない。 ・各講座によって受講者数のバラつきがある。

点検・評価項目	自己評価	総括・意見等	特記事項
	優れている=3 適切 =2 要改善 =1		
4. 併設校入試について ・令和3年度進学予定者 ・併設校入試の利用呼びかけ ・特待生選抜	2	・清和大学 併設校入試19名 総合型選抜4名 ・清和大学短期大学部 併設校入試35名 総合型選抜1名 ・呼びかけ開始時期が遅れ、特に清和大学受験者が減少した。高校側と大学側の温度差を埋めていく必要性を感じた。 ・選抜方法が変更となり、各自で基礎学力検査対策を実施	・総合型選抜Ⅳ期 3名 一般選抜 2名 出願予定(1月25日現在) ・清和大学 3名認定 ・清和大学短期大学部 2月5日特待生入試実施
5. その他 ・入試改革や新制度の理解と情報共有	3	・各大学の入試説明会に参加し、入試変更点等をクラス担任と情報共有した。入試形態が複雑化していく中で、各教員が情報収集を行い、進路指導を実践していく必要がある。	